

10月 3日 中志筑で県のCM撮影



撮影されたCMは、11月上旬までテレビ東京およびフジテレビ「おはよう茨城」の番組終了後に放送予定

茨城県の観光テレビコマーシャルの撮影のため、鉾田市出身のタレント磯山さやかさんが中志筑を訪れました。志筑小学校の北側は名峰筑波山が美しくみえるスポットとして知られています。

フレンドリータウンデイズ 9月 13日



スタジアム内で多くの観客を魅了した太子囃子獅子舞保存会の関口祐嗣くん

（株）鹿島アントラーズFCでは、9月13日を「かすみがうら市の日」と題して、市民などを対象に鹿島アントラーズのホームゲームに優待、638人の参加がありました。

カンボジアへ支援米を送ろう！ 9月 28日

今回収穫した米は、国連世界食糧計画を通じ、来年4月頃カンボジアに到着、現地の貧しい子供たちの学校給食に供される予定です。

「今年の作柄は、取水口付近が倒伏し穂発芽がみられるので多くは期待できません。」との関係者の話でしたが、会員の体験的側面もあり、20人の会員が参加し、稲刈りを楽しんでいました。

食とみどり・水を守る土浦地区労働会議による支援米の稲刈りが行われました。



コンバインと手作業で稲刈りをする参加者

ご家庭でどうぞ!! レンジでできる!簡単レシピ

そば粉入り蒸しパン (24個分)

- ボールに卵2個、砂糖90gを加え泡立て器よく泡立て、もったりしてきたら、サラダ油少々と牛乳1/2カップを加えさらによく混ぜる。
- そば粉100g・薄力粉100g・ベーキングパウダー小さじ2をふるい入れ、ゴムベラで練らないようにサックリと混ぜる。
- 紙のカップを同じくらい大きさの耐熱容器に入れ、②の生地を七分目まで入れて、ふんわりラップをかける。
- ③を電子レンジの回転台の端に等間隔に並べ、約1分30秒加熱する。ふっくらと膨らんできたら完成。

そばをもっと身近な料理に 9月 30日



市産そば推進協議会は、そばの生産試験や、消費拡大の活動を展開中

南中ではそば加工講習会 南中学校の家庭教育学級の一環として、かすみがうら市産そば推進協議会（矢口龍人会長）によるそば加工講習会が行われました。講習会には、第1学年の保護者や協議会員ら約40人が参加し、そばを打ったり、パン屋ラミントンが開発したそば粉の蒸しパンの作り方を教わったりしていました。

市内4中学校の2年生30人が、オーストラリアの現地校との交流やホームステイを通じて異文化に触れ、国際感覚を養うと同時に、故郷かすみがうら市を再認識する機会となりました。



中学生の海外派遣団が シドニー市とマンリー市を訪問

少年のつばさ



関 航輔さん (千代田中学校)

私は今回の研修で、英語によって視野が広がり友達が作れるということを知りました。英語でホストファミリーとなんとか話すことによって仲良くなることができ、英語の大切さを知りました。この研修で私は大きく成長できたと思います。

萩原 福次団長【下稲吉中学校長】報告

オーストラリアは十数年振りの寒さで、足を踏み入れた途端、肌を刺す冷たい雨に身震いました。しかし、3日目からは初夏の陽気に恵まれ、快適な日々を過ごすことができ、順調に研修を進めることができました。中学生の順応性の高さには特に驚かされ、キラウィーハイスクールを訪問したときには、パートナーになった現地中学生と積極的に自己紹介を始めていました。また、ホストファミリーとの絆も深まり別れを惜んでいる姿も印象深いものがありました。帰国の途についたときには、全員が家族のようになっていて、すべてに温もりを感じる研修でありました。このような貴重な体験を中学生に与えてくださった関係する皆様に、心から感謝申し上げます。

井坂 周平さん (南中学校)

オーストラリア、僕にとって初めての外国。言葉や文化が異なる外国へ行き、ホームステイや現地校の訪問などの貴重な体験をしました。この体験で「英語の大切さ」を改めて感じさせられました。I enjoyed homestay in Australia!!

行程(8月21日～27日)

- 21日(木)＝空路シドニーへ
- 22日(金)＝シドニー着、市内研修(オペラハウス、ミセスマッコリーズチェアー)、マンリー市内でホームステイ
- 23日(土)・24日(日)＝ホストファミリーとの個別活動、ホームステイ
- 25日(月)＝キラウィーハイスクール生徒との交流会、ホームステイ
- 26日(火)＝シドニー水族館見学、ダーリングハーバー周辺の自由散策、シドニー泊
- 27日(水)＝空路成田へ

古渡 千奈恵さん (下稲吉中学校)

私は、「少年のつばさ」に参加して、オーストラリアの人々の優しさを感じることができました。英語がうまく話せなくても、何度も分かりやすく話してくれ、伝えあう心が大事だと分かりました。今後一層英語学習に力を入れ、もう一度行きたいです。

松延 智美さん (北中学校)

私は、少年のつばさでの研修を通して、自分の英語力が思っていたよりも低いものだと感じました。相手が話を理解してくれた時は嬉しかったのですが、伝わらなかった時は、とても悔しかったです。この悔しさを忘れず英語の勉強を頑張りたいです。

